



氷室神社 神楽の舞 〈平林地区〉

- 12月定例会で決まったこと 2
- 委員会レポート 4
- 一般質問(10議員が登壇) 6
- 寄稿 郷土の先人たち 16

12月定例会

1億8538万円を増額補正

一般会計76億5,167万円

会期

12/9 ~ 12/19

11日間

主な補正予算

一般会計

住民基本台帳カード購入費

126万円

平林ヘリポート整備工事費

5,950万円



造成予定の平林ヘリポート地



台風15号の傷跡！

災害復旧費総額

3,290万円

マーチング楽器など購入費

64万円

介護保険特別会計繰出金

1,889万円



地下タンク埋設の鯉沢中

暖房機器リース料 23万円
土壌調査中の鯉沢中学校の暖房
機器のリース料。

鯉沢中学校の灯油漏れによる地
下タンク周辺の土壌調査を行うた
めの費用。

土壌汚染調査業務費

420万円

職員給与と条例の改正
山梨県人事委員会勧告にかんが
み、職員の給与について改正を行
う必要が生じたため。

第2回

臨時議会

11月28日

コンビニ交付サービスが スタート

全国のセブンイレブン

印鑑証明
住民票の写し
県立図書館
利用サービス

条例制定

12月定例会では、住民基本台帳カードの利用に関する条例の制定案1件、改正案5件が提案され、審議した結果、原案どおり可決されました。

問 住基カードの有効期限はあるのか。
答 交付後10年間は有効である。その後は更新が必要となる。更新、再発行の際は手数料が500円かかる。



普及拡大を

問 住基カード発行手数料の無料期間はいつまでか。
答 平成24年2月1日から平成25年3月31日までである。

問 今ある住基カードでコンビニ交付サービスは受けられるのか。
答 窓口で多目的利用のシステムを追加する必要があり、手数料は無料となる。

条例改正

生活安全条例の改正
犯罪被害者が受けた被害の回復または再被害防止を図るため、町が行う支援についての条例改正。

税条例の改正
税法改正を受け、寄附金税制、株式譲渡所得等の特例の延長、震災特例等の条例改正。

都市計画税条例の改正
経済・雇用の厳しい情勢に対応した税法等の改正による条例改正。

災害弔慰金の支給等に関する条例の改正
災害弔慰金の支給対象となる遺族の範囲を拡大するもの。

障害者施策推進協議会条例の改正
障害者基本法の一部が改正されたため、条例改正する必要が生じたもの。

平成22年度決算総括表

一般会計	
歳入	15億8,709万円
歳出	15億6,657万円
介護保険特別会計	
歳入	2億6,847万円
歳出	2億6,143万円
峡南ふるさと市町村圏特別会計	
歳入	3,554万円
歳出	3,433万円

各町村の負担金

市川三郷町	3億1,233万円
富士川町	3億3,556万円
早川町	7,156万円
身延町	3億1,654万円
南部町	2億1,482万円

報告

峡南広域行政組合

10月26日、第2回定例会が開かれ、平成22年度一般会計、特別会計の決算を審査した結果、原案どおり可決承認した。

委員会レポート

総務、教育厚生、産業建設常任委員会は、12月14日(水)午前9時から委員会を開催し、平成23年度主要事業進ちょく状況の説明を受けた。その後、要望などを行った。

総務

教育厚生

産業建設

総務常任委員会

産業建設常任委員会

【企画課】

総合計画の 今後の予定は

基本構想、基本計画の概要版を24年2月下旬に、町内全世帯に配布予定。

行財政改革の

事務評価の評価内容は

1、自主防災施設整備事業は、町民の安全・安心に努め、地域の需要に因應えられるような予算化を望む。

2、ふるさと夏祭り事業は、予算面の内容など町内各地域とのバランスを考慮し、改善継続する。

3、地域づくり推進組織事業は、使いやすい制度設計を行い、あわせて住民への周知徹底を図ることと、効果的な事業執行を望む。

【財政課】

非常用発電機設備 設置事業は

非常時における電源確保を図るため、役場本庁

舎に非常用発電機を、24年2月下旬までに設置する。

デマンド監視システム 設置事業は

節電対策の一環として、

公共施設の最大使用電力の抑制を図るため、あらかじめ設定した使用電力量に近づくと、警報が発せられる電力デマンド監視システムを、本庁舎ほか8施設に24年1月下旬までに設置する。

【総務課】

人事評価の進捗状況は

目標設定、自己評価適正研修、目標達成度評価を実施。今後は評価者研修を実施し、今年度中には試行段階であるが、評価シートを作成し成果を出したい。

【農林振興課】

畷地域の地籍調査の状況・高下地区での耕作放棄地促進再生事業および有害鳥獣対策などについて説明を受けた。

地籍調査について住宅密集地の早期調査を要望。耕作放棄地再生については、事業費の半額を町が負担することから、新規耕作者との契約は長期使用を盛り込むよう要望。

【農工観光課】
朝市などの地域活性化事業や対策の現況説明を受けた。



河岸跡の朝市(毎月2回)

9月より開催されている朝市は鮮魚売り場などの当初計画を縮小して実施、順調とのこと。来客者数が減少しないよう創意工夫を要望。

平林・穂積・十谷にトレッキングコースを設定した。来年コースマップを作成。

青柳東部近隣商業地域への大型店誘致、早期実現を要望。

【上下水道課】

下水道への接続率向上のため、接続助成金の活用・推進を要望。

【建設課】

「道の駅」詳細設計の委託をプロポーザル(提案型)方式で決定したとの報告を受けた。

台風による災害復旧は、大法師公園・富士川親水公園の災害査定が決定。早期復旧を要望。

【文化ホール事務局】

さまざまな団体や機関との連携を図りながら、住民参加型の良質で費用のかからない事業に取り組んできた。

【子育て支援課】
子ども医療費の窓口無料化に伴う助成金が11月末現在8、505件で約1、524万円ある。

町立保育所5カ所へのエアコン設置が完了し、事業費は約2、347万円。盛夏の給食時や午睡の際に使用し、園児が快適に過ごせた。また、約104万円でAEDを6台各保育所に設置した。

かじかざわ児童センター内に開設されたファミリースポーツ富士川がスタートした。「まかせて会員」37人、「お願ひ会員」63人の合計100人が登録されている。今年度初めて出張児童センターを、中部小2回、西小2回、南小1回、本の読

エアコンの入った保育所



み聞かせやパネルシアター、工作教室など放課後を使って実施した。
虐待と思われる事案は今年4月から11月までで新規が20件あった。

【町民生活課】

デマンドバスの現時点での負担金1、000万円を富士川町地域公共交通活性化協議会へ支払った。11月

30日現在10、304人の利用者があった。
太陽光発電システム設置補助金は、11月30日現在14件で約106万円支出した。内訳は町内の7万円が13基と転入者15万円が1基である。公平な補助制度の検討を要望した。

【教育委員会】

富士川ふれあいスポーツ広場復旧工事は、災害現地査定が終了し、堆積土砂の撤去について災害復旧事業と認定され約140万円が認められたが、流木や葦などの撤去は災害の対象にはならなかった。

【福祉保健課】

子宮頸がん予防ワクチン接種は、中学1年生から高校2年生合わせて233人と高校2年生以上47人、合計で約694万円の助成をした。効果のある接種と接種後の検診について受診指導を徹底するよう要望した。

3病院統合へ 協議スタート

12月27日、第1回市川三郷町・富士川町新病院設置協議会が開催された。

医師不足とそれにとまなう救急医療体制の崩壊を受け、22年9月から地域医療体制調査検討委員会において望まれる医療体制のあり方について検討を重ねてきた。今回の協議会はそれを受けたものである。

3病院それぞれ経営母体が違うことからさまざまな問題をクリアしなければならないが、2年後の新病院設立を目指し協議していくこととなった。

協議会メンバーは両町長・両議会各4人それに両町有識者および医療関係者など24人で構成された。

行政視察研修

変わる地方議会

研修先
神奈川県開成町議会
研修内容

開成町は神奈川県北部に位置し、行政面積は神奈川県で一番小さな町。人口約1万6千人で、この10年間で約3、000人増加している。

開成町議会は、議会基本条例を制定し、通年議会を実施している。一般質問における町長への逆質問権を付与し、議論の活発化を行

なっている。

これらの取り組みに対して説明を受け、活発な質疑意見交換が行なわれた。富士川町の議会改革にとつて大いに参考となった。



行政視察のようす

町政を問う 一般質問

井上 勝 議員



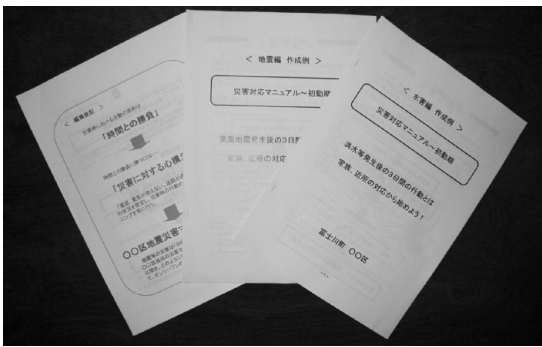
問 災害マニュアル作成費の補助は

答 補助制度の活用充実を図る

問 東海沖大地震が叫ばれているが、町の要請により各地区で災害マニュアルを作成中だが、町で作成してくれるのか、各区で作成するのか伺う。

町長 作成は各区長、自主防災組織を中心に、地域の実情に応じた初動対応や応急対応など、地震・水害編に分けて作成し、各区による管理を行っていただきたい。なお、初版については一部を助成してきた。

問 マニュアル作成にあたり、各組単位で調べているが、素人であるため、町のひな



各区で作成中の災害対応マニュアル

型があれば理解しやすく、また指導面で配慮がほしい。

町長 マニュアルは東日本大震災以前より必要性を感じ、各地区にひな形を配付してある。職員を各地区に張り付けているので使っていた。ほしい。毎年、見直し・補完し、区に応じた対応を検討していただきたい。

問 常時必要な備蓄品資材の整備、調達など経費の面で町が負担してくれるのか。

総務課長 地域の自主防災組織施設の充実に向け、発電機、浄水機などの防災資材については、町の助成制度や宝くじ助成金を活用していただきたい。また、消防資機材は、各区の依頼により、町が助成している。

今後、マニュアル作成による要望に応じるため、補助金制度の活用充実を図っていききたい。

米寿の祝い 戸別訪問について

問 平成22年度までは米寿の祝いを町長、社会福祉協

議会などで、各戸を訪問していたが、今年度は各区に依頼したがなぜか。

福祉保健課長 年を追うごとに米寿の該当者が増加し、今年度は96人が該当され、24年度は123人と大幅な増加が見込まれる。また、老人週間中、議会も重なり、町長の日程が取れない状況で、町長が伺えない趣旨を申し添え、区長に祝金などの贈呈をお願いした。

問 中身は分かったが、町長の考えは。

町長 米寿を迎えられた皆さまに、お祝いを申し上げたい気持ちは山ほどある。年々、米寿の方が増え、昨年は2日かけて訪問したが27年度には173人となり、訪問に何日もかかり町政にも影響する。また百歳を迎える十何人は、誕生日にお宅へ伺い、お祝いさせていただいている。高齢化社会の中で、町の対応も多少変えていかなくてはと思うている。百歳を迎えられる方々に心を込めて伺わせていただきたい。

問 駅へのアクセス道路と 周辺整備は

答 3市町で 協議会を設置する

さめた洋平 議員



問 リニアが本町を通過することのメリット、デメリット、町の今後の関わり、取り組みを伺う。

町長 メリットは移動時間の短縮による交流人口の増加や、観光を基軸とした滞留人口の増加など。デメリットは住宅地での日照障害や騒音、自然環境への影響などが想定される。リニアがもたらす効果や影響などを検証し、町の活性化に向けて調整していきたい。

問 リニアの設備の耐震性、人体への安全性、環境調査

はJRで行うものだが、町としての関わり、取り組みを伺う。

町長 環境アセスメントは環境影響評価法に基づいてJR東海で実施される。沿線自治体に関わるような内容は現在のところはない。この評価結果の公表における縦覧を、本庁と分庁舎の2カ所に置き、町民の皆さんに情報を提供していく。

問 本町から駅へのアクセス

利便性の向上を図る道路と周辺整備を練る必要があると考えるが、執行部の考えを伺う。

町長 中間駅へのアクセス道路の整備は、本町にとって最も重要な課題の一つ。駅へ直接つながる道路を整備することにより、人や物が行き交う賑わいのある町づくりが展開できると考える。沿線の中央市や南アルプス市と協議会を設置し、国や県



© Central Japan Railway Company. All Rights reserved.

地域活性化が期待されるリニア

JR東海へ積極的に働きかけていきたい。

問 協議会はいつごろ設置予定か。

町長 富士川町が中心になり、協議会を設置していきたい。メンバーは3市町の関係者で年明けには設置したい。

問 リニアが本町からトンネルに入り、早川町へ抜ける線形が予測される。おそらく、管理用の道路が並行して掘られると推測するが、この道路を利用する考えはあるか。

町長 20キロぐらいのトンネルになり、補助トンネルは掘らないと思う。それより途中に斜坑が掘られるようになる。斜坑がどの辺に付くのか、管理用道路がどこへ行くのか、明確になり次第対応していきたい。管理用道路を利用し、他の地域との移動手段としても確保でき、観光資源など有効利用ができるものであれば使っていきたい。国や県、JRとも協議をしていきたい。

道の駅の財源確保は

施設建設は国庫補助対象 収益部門は独立採算

長沢けん 議員



問 道の駅検討委員会の提言書の活用方法は。
建設課長 提言書の意見を施設整備などに反映するために、今後、さまざまな判断材料を用いて、実施の可否を検討する。
問 最初から指定管理者を導入すべきでは。
企画課長 「中部横断道全線開通まで町が運営して、指定管理者に渡す」など提言書の意見を尊重・参考に今後、最良な運営方法を決定する。
問 道の駅の運営は富士川町単独か。財源の確保は。

企画課長 施設建設費の一部は国庫補助事業のまちづくり交付金が対象になる。運営の財源については、直営の場合、収益部門は独立採算が原則。管理部門は一般財源で負担する。
問 中部横断道から道の駅へ、上り車線から進入できるよう働きかけるのか。
建設課長 上り車線側からは直に出入りは困難。上り車線側に道の駅の誘導、情報看板を設置するなど中日本に協力を要請する。



問 着地型観光の取り組みは。また富士川町大使など、PRする手法は。
建設課長 路線バスやシャトルバスなどの乗り入れに向けて取り組む。
問 富士川町大使は検討する。
問 集客する目玉事業はあるか。
建設課長 様々なソフト事業を展開する。ドッグラン、オートキャンプなどは、富士川水辺空間整備構想の中で検討し、河川空間と道の駅との相乗効果を図る。



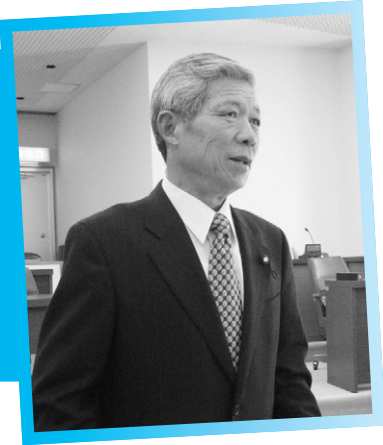
半分以上空室の町有住宅

問 昨年購入した町営住宅の活用方法は。
問 半分以上空き家だが、入居募集の広報の工夫はしているか。
建設課長 暮らしのカレンダー、ホームページで公募、賃貸住宅情報誌への掲載、チラシの配布などPR活動を積極的に進める。
問 家族の入居に限定されているが、条件を変える考えはあるか。
建設課長 青柳団地は、来年四月から単身者が入居できるように検討中。
問 近隣の企業への働きかけは。
建設課長 工業団地などに働きかけ、企業就労者の入居増加に努める。
問 増穂商業や巨摩高校へ、県内各地から通ってくる生徒に、学生寮として安く提供できないか。
建設課長 十年間は公共の賃貸住宅として運営する条件なので、学生寮として安く賃貸するのは困難。

問 中等度難聴児の支援対策は考えているか

答 24年度から町独自の自立支援として制度化

芦澤 益彦 議員



問 中等度難聴児の症状と本町の児童数は
福祉保健課長 中等度難聴とは、聴力レベルが40デシベル以上70デシベル未満の者とされ、児童の教育的観点から見ると、補聴器装着の必要が望まれている。本町で診断されている児童数は3人いるが、今後、健診の結果から予想される数は4人から5人である。

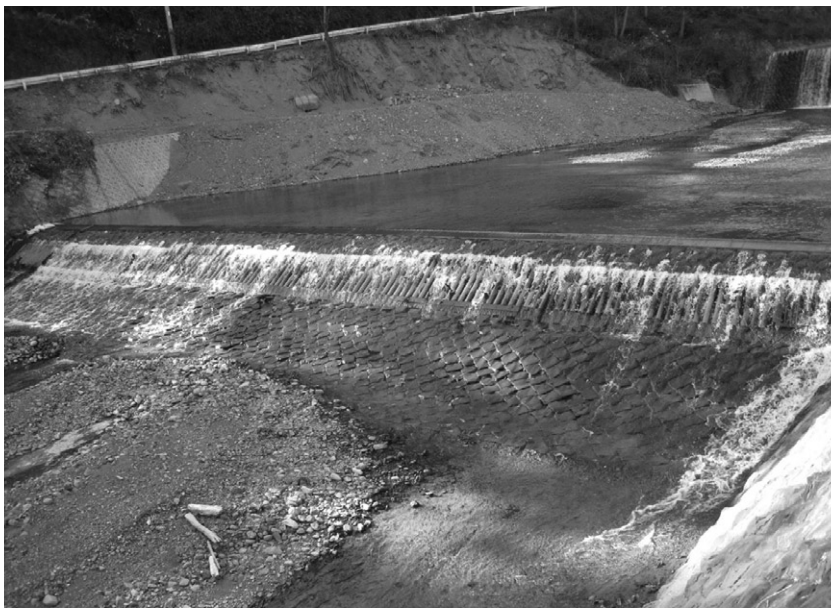
問 中等度難聴児に対する県内外の支援制度の状況は
福祉保健課長 山梨県自体の助成制度はなく、県内の

耳鼻咽喉科医で作る「山梨県小児難聴ネットワーク」より、知事あてに支援の陳情が行われている。県外では1府4県で助成制度を導入している。

問 障害者自立支援法に基づき、補装具支給制度の対象外となっている中等度難

聴児の健全な発達を望みたいが、補聴器の購入費用を町独自で助成できないか。

町長 中等度難聴児に対する助成制度はないが、児童の自立支援や、保護者の負担費用軽減のための施策として、来年度から本町独自の制度として制度化する。



戸川大口取水場

大口取水場の管理運営は

問 大口取水場は最勝寺、天神中条、大久保の3区で管理運営しているが、近年土砂の流入も多く、管理責任者の負担が重く安全面も危険がある。町として支援はできないか。

農林振興課長 昭和51年に完成した取水場で、当時、町と3区で協議し、機械などの維持修繕は町、操作運営は3区と定めている。今後も地区でお願いしたい。責任者の身の安全、補償などは地区が保険などで対応願いたい。

問 デマンドバス 障がい者・高齢者の利用料は

答 来年7月から100円に見直す

斉藤 正行 議員



問 デマンドバスの障がい者・高齢者の運行料金を町営バスと同様にできないか。

町長 自宅から目的地までという特色ある交通手段のため、町営バスより100円高い料金と定めてきた。デマンドバスの運行を検討する地域公共交通活性化協議会では、来年6月までが実証期間となっており、7月よりの本格運行に合わせ障がい者、高齢者の運行料金を100円に見直し、鵜沢地域へのエリアの拡大を決定していきたいと考えている。

問 定時定路線の運行料金は、町営バスと同じ形態でバスを利用することから、来年の本格運行に合わせて同額に設定したいと考えている。

人口減少の抑制は

問 合併以来10月1日で317人減少しているが、人口アップの施策は。

町長 これまで暮らしやすい、住みやすい町を目指して、子どもの医療費無料化の年齢拡大、予防接種の助成、保育料の軽減、児童センターの設置、65歳以上の皆さんのバスの無料化など実施してきた。

また、総合計画の重点施策として、安心して永住できる地域づくりを目指し、町有地の売却による宅地の提供、町有住宅への入居の促進、土地区画整備事業の推進、学校保育所のエアコンなどを入れた環境整備を進めることとしている。

合併以来、今年の9月ま

で人口減少していたが、やちと減少がストップしたところである。今後も500人アップにつながるよう、更なる施策が必要と考える。

災害対応マニュアルへの補助金は

問 災害対応マニュアル、区に見合った補助は。

町長 それぞれの区において安心・安全が保たれるような、災害対応マニュアルを作成いただいているところである。それを活用して必要とされる訓練を実施していただき、各区からの要望の中で補助金を出していきたい。



利用が多いデマンドバス

問

峡南地域に医療の確保をしていく決意は

答

重点施策の一つ 思いは変わっていない

市川淳子
議員



問 富士川町の意見集約は3病院を統合し、中核病院とすることで医師を確保し、医療体制や医療機能を充実させるという考えであり、議会の意向も同じであった。しかし、実際はなかなか進んでいない。なぜ進まないのか、進まない状況をどう考えているのか。

町長 現在、いろいろな調整をしている段階であり、12月中の任意協議会設置に向けて、鋭意努力している。

問 町長は自分の政治生命をかけて、この峡南の地に

医療を確保するという強い決意を持っているのか。

町長 一年半前、町長選に立候補した際、重点施策の一つに、この峡南地域の医療をなんとかしていきたいということ掲げた。現状の病院がそれぞれでは将来がない状況である。三病院を統合し医師を確保し、救急医療もできて、今以上の診療科目を提供できる医療体制を作っていきたい思いは、全く変わっていない。



どうなる！
これからの地域医療



地域医療問題は住民と共に考えることが必要

問 今、住民が自分たちの地域医療は、自分たちも一緒になって守っていこう、という動きが、全国のあちらこちらで行われている。こうした住民の意識を育てながら、地域医療を守っていくことが、これからはとても大切になってくる。行政は住民を置き去りにして、医療問題を進めていかないでほしいが。

町長 私の方針とか考え方そして、これまでの取り組みはあらゆる機会を通じて、住民の皆さんに訴えてきた。総合計画に対する町民の意見を伺った中でも、ほとんどの地域で医療の問題が一番になっており、医療提供体制と医療の確保への取り組みは理解されているものと考えます。今後、新病院の医療体制や医療機能など、具体的な内容検討については、医療関係者、地域住民など多くの人の意見を伺いながら進めていきたい。

問 峡南医療圏の現状を見たとき、一刻の猶予もないくらい脆弱な医療提供体制である。町長は強いリーダーシップで、この現状を打破していかねければならない。そう遠くない時期に、富士川町が目指している方向性を、町民に示し理解を求めていく姿勢が不可欠だと思いが、**町長** 新たに任意協議会が設置され、今後の方向性が出た段階で、住民説明会を実施していく。

問

台風15号の 長沢新町道路冠水対策は

答

暫定的なポンプの 増設を検討している

斉藤 欽也 議員



問 9月21日、台風15号の来襲により、長沢新町区画整理地区の道路が完全に冠水した。あわや床上浸水に至る状況となった。排水作業が間に合わなかったのはなぜか。

農林振興課長 午後5時30分ごろから排水作業を開始したが、排水機場2台のポンプのうち1台目が作動せず、2台目が作動するのに時間がかかった。その後1台目の故障原因を取り除き運転を行なった。富士川からの逆流を阻止する水門ゲートも電動で操作できず、手動

で水門を閉じたのが7時15分過ぎとなった。その後、排水作業により道路の水が引き始めた。

11時30分ごろには、富士川の水位が下がったため、水門を上げポンプを停止した。**問** 作業体制の問題もあるが、施設の老朽化が最大の問題ではないか。9月議会するとき、町長はシミュレーションができた段階で地元対策協と協議し、実施計画に盛り込むとの答弁であったが、早急に排水能力を高める手法を、暫定的に取るべきではないか。

町長 道路が冠水したことから、現在2カ所の水門の修理を県に依頼している。また暫定的なポンプの増設を検討している。

新町建設への 取り組みは

問 昨年6月議会で、職員適正化計画を策定し実施するととなっていたが、現状は、**総務課長** 今年4月に策定し、5年間で13人の削減を目標としている。

問 本気で行財政改革を意識した目標数値とは思えないが。

町長 長い年月をかけて適正な職員数にしていく。

問 旧町単位のままになっている体育施設使用料の統一は、いつまでに行うのか。

生涯学習課長 統一した算定方法の中で、施設間の料金バランスを考える必要がある。原案が固まり次第、スポーツ推進審議会に諮り、



11月27日長沢排水機場前での説明会

3月議会に提案できるようにしたい。

問 青柳東部地区を商業地に用途変更して2年が経つ。ベイシア問題が暗礁に乗り上げているのであれば、新たな方法の模索を、町が関与し積極的に進めるべきではないか。

町長 地権者会も、年度末を目前に結論を出したいということ、町も一緒になつて進めている。

問 2町の意見集約に 共通理解は得られているか

答 任意協議会設置前の 6者協議で確認する

秋山 貢 議員



問 市川三郷町の意見集約の中には、病院などの協議と並行して、地域医療機能推進機構の運営内容を調査検討するとある。いつまでに調査検討する考えなのか、両町での共通理解はできているのか。

町長 両町が協議している段階では、もうそこはなあと考えている。

問 2町の町長で、市川三郷町議会も同意して調査検討はしないと確認したのか。

町長 協議会設置に向けて最終調整をしているところ

2病院の地区別患者数および患者比率（平成21年4月～平成22年3月）

湊沢病院					市川三郷町立病院				
入院					入院				
市町村	富士川町	市川三郷町	その他	合計	市町村	富士川町	市川三郷町	その他	合計
患者数	7,931人	4,895人	7,643人	20,469人	患者数	1,943人	9,354人	7,239人	18,536人
比率	38.7%	23.9%	37.4%	100.0%	比率	10.5%	50.5%	39.0%	100.0%
外来					外来				
市町村	富士川町	市川三郷町	その他	合計	市町村	富士川町	市川三郷町	その他	合計
患者数	26,809人	9,581人	22,858人	59,248人	患者数	6,835人	33,170人	19,150人	59,155人
比率	45.2%	16.2%	38.6%	100.0%	比率	11.5%	56.1%	32.4%	100.0%

問 両町の6者協議があるということであれば、必ず確認していただけるか。

町長 当然確認しなければならぬ項目だと思つ。

問 市川三郷町が設置を予定している任意協議会は、地域医療再生交付金の基金

を活用し、3病院を統合し、25年度までに実施する約束を前提として考えているのか。

町長 交付金は、25年度までの期限となつている。これから協議会を作つて協議を進めていくことになる。

問 6者協議で、任意協を立ち上げる前の基本的な事項として、確認していただけるのか。

町長 再生計画に基づくものなので、当然その中でやっていく仕事の一つである。

問 市川三郷町の任意協議会の意味するところは、法定協議会、もしくは2町で設置する病院の経営母体や運営について協議する一部事務組合の前段階とする協議会なのか、協議会設置の目的を6者協議で確認していただけるか。

町長 当然そういう場で懸念される問題は、すべて話をさせていただくことになる。

問 市川三郷町立病院の存続を望み、有権者の3分の1といわれる3、977人が署名した。組織を挙げて

活動すれば、2・5倍から3倍集まるといわれていた。両町の置かれている立場を理解した上で、現状認識を伺つ。

町長 協議会を設置するに当たっては、地域医療再生交付金の残り期間を考えると、途中で頓挫することがないよう、設置の目的や新病院の開設時期などを改めて確認し、共通認識のもとで設置していきたいと考えている。

リニア中央新幹線は 責任ある町の対応を

問 地域住民の健康や環境を良好に維持するため、町が責任を持って対応すべきでは。

町長 シミュレーションやモニタリングの評価結果を見ながら、住民への環境影響がないように国・県やJR東海に提言や要望していきたい。

問

防災会議に 女性委員の登用を積極的に

答

女性委員の 登用は規定があり難しい

堀之内美彦議員



問 女性の視点は生活者の視点だ。細かいところへの着眼点は女性ならではだ。女性の声を取り上げ、防災に生かしていくべきと考える。防災会議へ女性委員を積極的に登用する考えはあるか。

総務課長 災害時における救助、介護活動の避難所の整備・運営など、女性の視点からの意見の反映も必要だが、災害対策基本法の規定に基づき、町の防災会議条例で選任母体が定められているので、女性の積極的な登用は現在のところ難しい。

問 防災会議条例に、専門

の事項を調査のため、専門委員を置くことができるが、女性団体連絡協議会の力を借り、女性目線での意見集約を、防災会議のテーブルに載せる考えはあるか。

総務課長 災害基本法に基づいて、条例を定めている。本町は現在17名の委員がいるが、委員を指名するのは



女性の視点で防災を

法改正が必要だ。

問 第4条に防災会議専門の事項を調査するとある。女団連は教育委員会の管轄だが、教育長の考えを伺う。

教育長 女団連の意見が重要となれば、会議の中ではつても意見を求めることは可能と思う。

問 町長の考えを伺う。

町長 今、各地域で災害対応マニュアルを作成している。その中に地域の女性の意見を反映していただきたい。町が災害を受けた時、社会福祉協議会を中心にボランティア・食改・女団連加盟の皆さんに、お手伝いしていただきたいと思っている。

**NPO・ボランティア
団体の支援強化を**

問 NPO法人に対する行政の率直な評価と、ボランティア団体の今後の活動支援強化に向け、具体的施策を伺う。

企画課長 国では新しい公共として、官民が一体となつて市民参加のもとで、医療・福祉・教育など、共助の精神で取り組む活動を支援するとしている。県では国からの交付金を受け、新しい公共支援事業を実施して、自発的に運営する組織を支援するとしている。

町でも地域づくり推進組織事業補助金を交付するなどの支援を行っている。

放射能汚染から給食の安全性をどう守るか

答 食材納入業者と連携し産地の厳選を図る

永井寛子 議員



問 原発事故の収束の目途がつかない中、学校給食の食材は安全なのかと保護者から不安の声が上がっている。安全性をどのように確保するのか。

教育長 これまでは安全が確保された市場流通食材を購入してきた。今後は食材納入業者と打ち合わせを行い、産地の厳選や基準をクリアした産地からの食材を調達するよう徹底を図りたい。

問 保護者から不安の声は届いているか。

教育長 電話やその他、保

護者から意見が出ていていることは承知している。

問 そのような声に対し、教育委員会としてどのような対応、情報発信をしているのか。

教育長 現時点において保護者へのメッセージは発信していない。

問 県のほうから何らかの指導はあったのか。

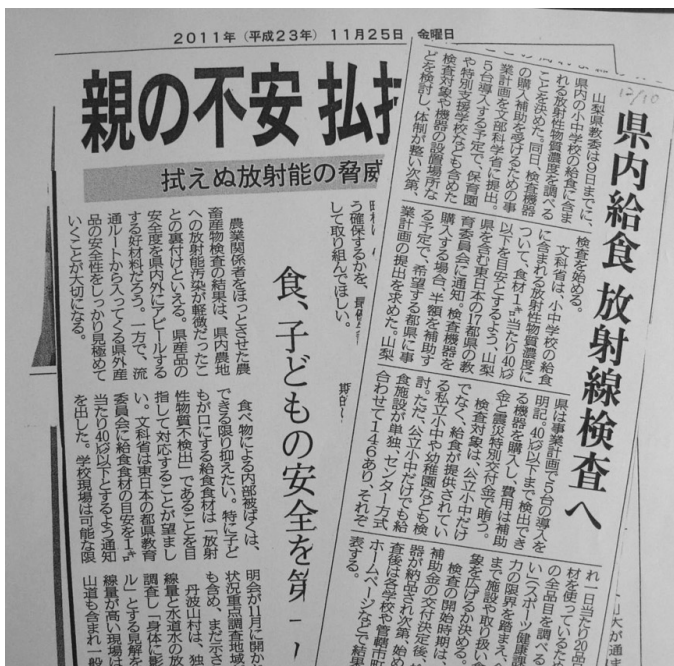
教育長 本県では、40ベクレル以下まで検査ができる機器を5台備えること

している。しかし、県内のすべての施設および全食材を検査するには限界があると思う。

問 町独自で検査機を購入したらどうか。それほど高価でなくてもあるはずだ。

町長 この地域でそれが必要かどうかは、もう少し周りの状況をみながら考えたい。

問 保護者の不安を少しでも拭うためにも、食材の産地の公表をするべきだと考えるか。



給食の安全はまもれるか？

教育総務課長 食材は調理当日に納入されるため、公表するにしても、給食提供後になってしまふ。

リニアはまちづくり
にどう影響するか

問 リニア中央新幹線が町を二分する形で、町の頭上を通過することが明らかになった。この狭い扇状地に東は中部横断自動車道、西はリニア新幹線に挟まれて、大変違和感をおぼえる。その上、駅までのアクセス道も新たにできるといふ。既存の道路を活用できないのか。

町長 工事用道路を活用し、駅へまっすぐ道路ができれば、今後のまちづくりの中でいろいろな展開が可能になると思う。

問 リニア建設に伴って生ずる恐れがある多様な問題に、町長は国や県に対応を要請していくというが、実効性はあるのか。

町長 中央市、南アルプス市と連携をとりながら、共通課題に対応していきたい。

郷土の先人たち

無季自由律の俳人 秋山紅蓼

青柳 光仁
(鯉沢在住)

鯉沢の戸川橋の南詰めで小室山への入り口に妙法神堂があり、その境内に大きい石碑があります。

山の桜が谷へちり
いまも古里である

この句は昭和29年の旧鯉沢町町制60周年記念式典で秋山紅蓼が文化功労者として表彰され、町を訪れた時に詠んだ作品です。

俳句と言うと、明治30年正岡子規の友人である柳原極堂が創刊した「ホトトギス」の影響で、有季定型季語を入れる、五・七・五などの伝統俳句が浮かびます。

無季自由律の俳句というのは、「旧来の俳句のような約東形式(五・七・五)や季語などは一切ありません。形にとらわれず、自分の言葉で自由に表現する俳句です。俳句と言うより一行詩のニユアンスに近いと思われま

いた呉服商大黒屋の次男として、明治18年12月、鯉沢町で生まれました。年少より文学を好み、「新潮」の前身「新声」などに詩歌を投稿し、山梨俳壇のれい明期に活躍し、その後「層雲」創刊より自由律俳句に専念したよう

です。昭和9年4月2日鯉沢小学校の校歌を制定。

昭和22年4月、6・3制実施により国民学校高等科の分離により鯉沢中学校設立。

瀬音さやけき富士川の川風清き 朝夕に：

光まばゆく明けわたり
われらを生んだ山と川：

鯉沢小・中学校の校歌です。どちらも秋山紅蓼の作詞によりま

す。彼は青年時代まで過ごしたこの地をこよなく愛し、上京してからも故郷を偲ぶ作品を数多く残しています。

古里の山をうたい
川をたたえて校歌とす

古駅とて鯉沢
もう柳吹いて
枯れそめるあたり

秋空のあの山も
この山も古里

ふるさとの柿は渋くて
こんなにくささんある

昼顔咲いて古里は
風が川から吹く

夕べ吹かれています
みんなふるさとの草



秋山紅蓼句碑 (鯉沢・妙法神境内)

議会クイズ

- 問題1. 第2号ヘリポートの建設予定地は、どこの地区か。
- 問題2. 住基カードの有効期限は何年か。
- 問題3. 第1回新病院設置協議会は、いつ開催されたか。

《景品》抽選で3名の方に図書券千円分を差し上げます。
《応募要領》必要事項を記入の上、ハガキにて応募ください。

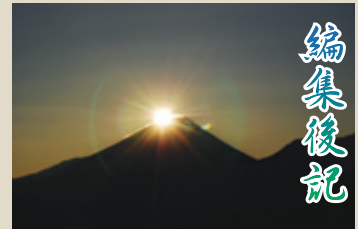
・答え ・郵便番号 ・住所 ・氏名
・年齢 ・電話番号 ・議会広報の感想

《宛て先》〒400-0592 富士川町天神中条1134
富士川町議会事務局 行

《締め切り》平成24年2月末日(当日消印有効)
《当選者の発表》商品の発送をもって当選と代えさせていただきます。

前回の答え(1)20日(2)35年(3)1億1,328万円
厳正なる抽選の結果、3名の方に賞品を発送しました。

編集後記



新年あけまして
おめでとうございます
ごさいます

富士川町として発行した議会だよりも、第7号を迎えることができました。より具体的に、より分かりやすく

を合言葉に、編集委員一同、さらに邁進していく所存です。
今年もどうぞよろしく願っています。
(市川淳子)